

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時16分58秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00701	総合的自転車対策事業（交通対策費）							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	30	誰もが安全で快適な交通環境づくり							
予算事業	10687	01	08	02	05	05	01	01	総合的自転車対策事業（交通対策費）
所属長	大竹 哲男			担当者（内線）鈴木（IP501-413）					
根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律等								
事業開始年度	平成20年度	直近の改正			平成28年度				
改正内容	放置自転車等の処分方法について、放置自転車等措置規程内にある公共団体への無償譲渡の部分を削除。放置自転車等の優先処分（売却）に関する規程を制定。放置自転車等管理システム情報セキュリティ実施手順の変更。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民等、駅周辺での自転車等利用者		
目標	駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等の放置防止		
結果	駅周辺の良好な交通環境の確保		
事業概要	<p>駅周辺の放置自転車等（原付、自動二輪を含む）ゼロを目的に、駅周辺の自転車等放置禁止区域内での放置防止の啓発・指導及び放置自転車等の移送（撤去）を実施する。あわせて、駅周辺で自転車駐車場の運営を行う。</p> <p>移送自転車等は、「放置自転車等管理システム」により適切な保管・返還・処分を行う。システムの活用により、自転車コールセンターでの返還の案内、問い合わせ対応を行う。また、放置自転車対策として、レンタサイクル事業を行う。</p> <p>交通対策費は、自転車等放置防止指導、自転車等移送、自転車等保管・返還・処分、レンタサイクルの業務を所管する。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	（公社）吹田市シルバー人材センター
		委託先②	（特非）吹田・江坂ビジョン21
		委託先③	
	主な委託内容		自転車等保管・返還・処分業務等
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	137,219	132,783	130,996	128,993	124,194
人件費職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	11,850	12,078	12,078	11,918
総事業費(A+B)	149,474	144,633	143,074	141,071	136,112
特定財源(C)	49,096	23,869	48,806	19,734	17,495
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	49,096	23,869	48,806	19,734	17,495
市負担(D)	100,378	120,764	94,268	121,337	118,617
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	100,378	120,764	94,268	121,337	118,617
財源計(C+D)	149,474	144,633	143,074	141,071	136,112

所属	総務交通室
事務事業番号	00701

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	自転車等移送実施日数	日	目標値	270.00	265.00	283.00
			実績値	270.00	265.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	自転車等移送業務実施予定日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	535.68	532.34	
			一般財源(千円)	447.27	457.88	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	放置自転車等の撤去台数	台	目標値	31,753.00	31,753.00	31,753.00
			実績値	22,937.00	24,164.00	
			達成度(%)	72.20	76.10	
目標値の積算方法	過去最高年間撤去台数31,753台(12年度)を基準に「放置台数0=達成度100%とし、31,753台減少を目標とする	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.31	5.84	
			一般財源(千円)	5.27	5.02	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	平成20年度から自転車駐車場管理業務を含め、一元化して総合的自転車対策事業を実施している。自転車等放置防止指導など、放置自転車等をなくすことは、都市環境の悪化を防止し、災害時の防災活動の確保や歩行者の安全及び通行機能の保持を図ることにつながるため、今後も必要な事業である。

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	総合的自転車対策事業(交通対策費)	事業区分	その他
事務事業番号	00701				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

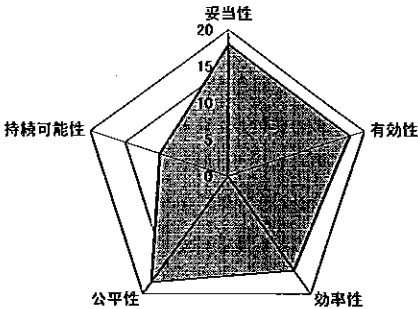
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	80	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	00701
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>自転車等放置防止対策として、放置防止指導員による啓発や移送(撤去)業務を行っており、駅周辺の放置自転車等は減少している。平成20年度からは、自転車駐車場管理業務を含め一元化して委託することで、業務効率の向上及び事業費の削減を図っている。また、放置自転車等管理システムの導入により、保管自転車等の適切な管理及びスムーズな問い合わせ対応等を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時17分41秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00702	総合的自転車対策事業（自転車駐車場費）							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	40	自動車に過度に依存しない交通環境づくり							
予算事業	10730	01	08	05	05	01	01	01	総合的自転車対策事業（自転車駐車場費）
所属長	大竹 哲男			担当者（内線）辻本（IP501-412）					
根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、吹田市自転車駐車場条例等								
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	平成27年度						
改正内容	吹田市自転車駐車場条例改正（吹田市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正に伴い、無断使用に対する措置についての文言変更）								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	市民		
目標	駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等の放置防止		
結果	駅周辺の良好な交通環境の確保		
事業概要	<p>駅周辺の放置自転車等（原付、自動二輪を含む）ゼロを目的に、駅周辺の自転車等放置禁止区域内で放置防止の啓発・指導及び放置自転車等の移送（撤去）を実施する。あわせて駅周辺で自転車駐車場の運営を行う。</p> <p>移送自転車等は、「放置自転車等管理システム」により適切な保管・返還・処分を行う。システムの活用により、自転車コールセンターでの返還の案内、問合せ対応を行う。また、放置自転車対策として、レンタサイクル事業を行う。</p> <p>自転車駐車場費は、自転車駐車場及びコールセンターの運営を所管する。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	（公社）吹田市シルバー人材センター
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	自転車駐車場管理業務、コールセンター業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	456,279	454,627	428,859	423,673	550,802
人件費職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	11,850	12,078	12,078	11,918
総事業費(A+B)	468,534	466,477	440,937	435,751	562,720
特定財源(C)	395,110	414,904	397,404	409,038	417,487
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	395,110	414,904	397,404	409,038	417,487
市負担(D)	73,424	51,573	43,533	26,713	145,233
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	73,424	51,573	43,533	26,713	145,233
財源計(C+D)	468,534	466,477	440,937	435,751	562,720

所属	総務交通室
事務事業番号	00702

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	自転車駐車場の利用台数	台	目標値	19,489.00	19,489.00	19,329.00
			実績値	16,415.00	16,351.00	
			達成度(%)	84.20	83.90	
目標値の積算方法	自転車駐車場の収容台数を目標値とする	単位当たりコスト	総事業費(千円)	28.42	26.65	
			一般財源(千円)	3.14	1.63	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	放置禁止区域内放置台数	台	目標値	4,111.00	4,111.00	4,111.00
			実績値	3,710.00	3,751.00	
			達成度(%)	90.20	91.20	
目標値の積算方法	平成16年度放置台数調査時の台数である4,111台を基準に、4,111台減少させることを目標にする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	125.74	116.17	
			一般財源(千円)	13.90	7.12	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	JR岸辺駅の吹田操車場跡地整備など、駅周辺の再整備が行われるなか、自転車を取り巻く状況を踏まえ、今後も自転車利用は高まると考えられる。 一方で、民間駐輪場の整備が遅れている現状では、現在設置している自転車駐車場の管理を継続していく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	総合的自転車対策事業(自転車駐車場費)	事業区分	その他
事務事業番号	00702				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	82	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	00702
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>自転車は、自動車と比較して移動距離当たりのエネルギーが少なく、有害な排出ガスが発生しない。健康増進効果への期待や、大気汚染や地球温暖化問題が叫ばれる現在、環境負荷の少ない移動手段として、自転車が見直されている。また、維持にかかる費用が低く、使用台数は増加している。</p> <p>一方で、歩道を通行できることから、特に自動車や歩行者など他の交通も集中する駅周辺に放置自転車が集中し、交通環境を悪化させている。特に、吹田市は北摂他市に比べて公共交通機関の駅数が多く、放置自転車の影響も大きい。</p> <p>駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置自転車を撤去すると同時に、市営自転車駐車を運営することにより、自転車を放置してもよいというふるまいを変え、良好な駅周辺の交通環境を創造することにより、上位施策に寄与するところが非常に大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>国(国土交通省)から、府を通じ、たびたび自転車駐車場における自動二輪車(特に125ccまで)の受入れを積極的に進めるよう通知されている。しかし、自転車駐車場は、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律により整備しているが、自動二輪車の駐車場は駐車場法に規定されている。そのため、既設市営自転車駐車場へ自動二輪車を受入れる場合、消防関係法令により大規模な消防設備の設置が義務付けられているため、直ちに現在の需要に見合うよう整備することは、非常に困難な状況である。</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時18分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00703	千里ニュータウンプラザ施設管理事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	40	自動車に過度に依存しない交通環境づくり		
予算事業	10731	01	08	05
所属長	大竹 哲男	05	01	01
根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、吹田市自転車駐車場条例等			
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	市民		
目標	駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等の放置防止		
結果	駅周辺の良好な交通環境の確保		
事業概要	<p>駅周辺の放置自転車等（原付、自動二輪を含む）ゼロを目的に、駅周辺の自転車等放置禁止区域内で放置防止の啓発・指導及び放置自転車等の移送（撤去）を実施する。あわせて駅周辺で自転車駐車場の運営を行う。</p> <p>移送自転車等は、「放置自転車等管理システム」により適切な保管・返還・処分を行う。同システムの活用により、自転車コールセンターでの返還の案内、問合せ対応を行う。また、放置自転車対策として、レンタサイクル事業を行う。</p> <p>自転車駐車場費は、自転車駐車場及びコールセンターの運営を所管し、そのうち、本事業では、阪急南千里駅前西第2自転車駐車場が設置されている千里ニュータウンプラザの維持管理経費のみを所管する。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	吹田南千里PFI株式会社
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	千里ニュータウンプラザの設計建設維持管理
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	39,755	39,490	38,683	37,911	39,160
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,043	1,975	2,013	2,013	1,987
総事業費(A+B)	41,798	41,465	40,696	39,924	41,147
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	41,798	41,465	40,696	39,924	41,147
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	41,798	41,465	40,696	39,924	41,147
財源計(C+D)	41,798	41,465	40,696	39,924	41,147

所属	総務交通室
事務事業番号	00703

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	阪急南千里駅前西第2自転車駐車場の利用台数	台	目標値	98.00	98.00	98.00
			実績値	62.00	68.00	
			達成度(%)	63.30	69.40	
目標値の積算方法	自転車駐車場の収容台数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	668.79	587.12	
			一般財源(千円)	668.79	587.12	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	阪急南千里駅周辺放置禁止区域内原動機付自転車放置台数	台	目標値	77.00	77.00	77.00
			実績値	75.00	75.00	
			達成度(%)	97.40	97.40	
目標値の積算方法	平成16年度放置台数調査時の実績台数77台を基準に、「放置台数0=達成度100%」とし、77台減少させることを目標とする	単位当たりコスト	総事業費(千円)	552.87	532.32	
			一般財源(千円)	552.87	532.32	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	原動機付自転車を取巻く状況をふまえ、今後も利用は横ばいになると考えられる。一方で、民間駐輪場の整備が遅れている現状では、現在設置している自転車駐車場の管理を継続していく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00703				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		c. 単位当たりコストは高く、見直す必要がある。(1点)	1点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
内部管理	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	77	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	00703
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Appropriateness), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>原動機付自転車は、自動車と比較して小型であり、移動距離当たりのエネルギーが少なく、有害な排出ガスの量も少ない。 大気汚染や地球温暖化問題が叫ばれる現在、また、維持にかかる費用が比較的安く、使用台数がほぼ横ばい状態にある。 一方、小型であることから、特に自動車や歩行者など他の交通も集中する駅周辺に放置が集中し、交通環境を悪化させている。特に、吹田市は北摂他市に比べて公共交通機関の駅数が多く、その影響も大きい。 駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置原動機付自転車を撤去すると同時に、市営自転車駐車場の運営により、自転車を放置してもよいというふるまいを変え、良好な駅周辺の交通環境を創造することにより、上位施策に寄与するところが非常に大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
22時01分36秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01094	工事積算システム事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	00								
予算事業	10656	01	08	01	01	02	01	02	工事積算システム事業（土木総務費）
所属長	大竹 哲男			担当者（内線）長尾（IP501-423）					
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成14年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	道路等の設計・積算・作図		
目標	数量計算書、設計書、設計図等の作成及び施工管理の効率化		
結果	積算データの一元化により、積算業務上の対応範囲が大幅に増加することや、処理速度・能力が上がることで省力化が進み、歩掛けの変更や設計変更等に機敏に対応できる		
事業概要	「新土木工事積算体系」に基づく積算システムの構築とネットワーク化により、膨大な積算・設計情報を共有化し、効率的な設計・積算業務を進める		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	土木工事積算システム及び関連機器のリース契約等	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,003	2,647	2,749	2,658	2,864
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.25	0.25	0.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	2,013	2,013	1,987
総事業費(A+B)	7,088	6,597	4,762	4,671	4,851
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	7,088	6,597	4,762	4,671	4,851
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,088	6,597	4,762	4,671	4,851
財源計(C+D)	7,088	6,597	4,762	4,671	4,851

所属	総務交通室
事務事業番号	01094

2頁
平成30年 6月 7日
22時01分36秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	「新土木工事積算体系」に基づく積算システムの構築とネットワーク化により、膨大な積算・設計情報を共有化し、効率的な設計・積算業務を進める	目標	数量計算書、設計書、設計図等の設計図書作成及び施工管理の効率化
成果内容	数量計算書、設計書、設計図等の設計図書作成及び施工管理の効率化	達成状況	積算データの一元化により、積算業務上の対応範囲が大幅に増加し、処理速度・能力が上がり、設計等の変更に機敏に対応できる

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	本システムは、各業務の基盤となるものであり、本システムを抜きに設計等を行うことは考えられない。今後とも効率化やコストダウンの方策を考えつつ、事業を継続する必要がある。		

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	工事積算システム事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01094				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01094
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>積算データの一元化により、積算業務上の対応範囲が大幅に増加し、処理速度・能力が高まり、省力化が進んだ。そのため、歩掛けの変更や設計変更等に機敏に対応できている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
10時28分34秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01095	南千里庁舎管理事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10657	01	08	01	01	03	01	01	南千里庁舎管理事業（土木総務費）
所属長	大竹 哲男			担当者（内線）香川 直樹（IP501-425）					
根拠法令等	吹田市事務分掌規則								
事業開始年度	昭和57年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	南千里庁舎		
目標	南千里庁舎の施設・設備等を良好な状態に維持管理する。		
結果	南千里庁舎で業務する各室が円滑に業務を実施できる。		
事業概要	南千里庁舎の施設・設備の維持管理業務 平成29年度については、例年の事業に加え、公共用地取得に係る予算執行がありました。本評価に係る事業費とは性質が異なるため、事業全体の決算額108,167,377円から当該用地取得額88,868,820円を引いた19,288,557円を本評価での決算額としています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株)イズミ
		委託先②	京阪環境サービス(株)
		委託先③	(株)グリーン空調サービス
	主な委託内容		南千里庁舎警備、清掃、空調設備点検
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	32,176	18,498	20,350	19,289	19,650
人件費職員数(人)	2.00	1.50	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	11,850	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	48,516	30,348	36,454	35,393	35,540
特定財源(C)	23	21	23	23	21
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	23	21	23	23	21
市負担(D)	48,493	30,327	36,431	35,370	35,519
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	48,493	30,327	36,431	35,370	35,519
財源計(C+D)	48,516	30,348	36,454	35,393	35,540

所属	総務交通室
事務事業番号	01095

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	南千里庁舎の施設・設備の維持管理	目標	南千里庁舎の施設・設備を良好な状態に維持管理する。
成果内容	公務の円滑な遂行及び来庁者等の安全確保	達成状況	施設が支障なく使用でき、来庁者等の安全も確保できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	道路・公園の施設整備、維持管理を行う拠点施設であり、また、非常時には防災活動の実働を担う拠点施設として引き続き良好に維持管理をしていくために、現状どおり事業を継続させる必要がある。 老朽化に伴い施設の不具合が多々あるが、北庁舎への移転が予定されており大規模な改修はできないため、緊急に補修が必要な箇所のみ修繕を行い、施設の延命を図っている。

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	南千里庁舎管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01095				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	67	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01095
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時19分24秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01096	迷惑駐車対策事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	30	誰もが安全で快適な交通環境づくり							
予算事業	10681	01	08	02	05	02	01	01	迷惑駐車対策事業（交通対策費）
所属長	大竹 哲男			担当者（内線）柿田耕市（IP501-410）					
根拠法令等	吹田市違法駐車等の防止に関する条例								
事業開始年度	平成6年度	直近の改正			平成22年度				
改正内容	違法駐車等防止の指導啓発業務委託から防止啓発活動の実施								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	警察による駐車車両の取締りが困難な道路上において、路上駐車等の発生により市民生活に影響を及ぼす可能性のある場所または当該車両		
目標	違法駐車等を未然に防止し、道路の効用の保持及び道路交通の安全と円滑化を確保することにより、安全で快適な交通環境の改善を図る		
結果	渋滞の緩和や道路横断時の交通事故防止、緊急車両の円滑な通行を確保することで、市民の安全で快適な生活環境の維持と向上が期待できる。		
事業概要	平成22年1月から吹田警察署管内において民間駐車監視員制度が導入され、重点地域及び重点路線での放置車両の確認と標章の取付けを行う活動によって、違法駐車等の未然防止に絶大な効果をあげています。しかしながら重点地域以外での取締り困難な道路においては、依然として迷惑駐車等の苦情も多く、市として地域の方々や吹田警察署と協力し積極的に迷惑駐車防止チラシ等の配布活動、ノボリ旗・防止看板等の設置による迷惑駐車防止のための啓発事業に市民と協働して取り組んでいく。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	356	356	383	356	383
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	4,441	4,306	4,409	4,382	4,356
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,441	4,306	4,409	4,382	4,356
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,441	4,306	4,409	4,382	4,356
財源計(C+D)	4,441	4,306	4,409	4,382	4,356

所属	総務交通室
事務事業番号	01096

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	違法駐車等の防止啓発活動を地域、市民団体等と連携を図りながら警察と協力し、違法駐車等防止対策やノボリ及び、看板設置などを行う。	目標	違法駐車等を防止することにより、道路施設において、安全で快適な交通環境の整備
成果内容	ノボリ、看板・サインキューブの作成設置、啓発ビラの配布	達成状況	ノボリや看板・サインキューブの設置及び啓発ビラの配布による違法駐車等の減少

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	本来、駐車違反の取り締まりは警察の所管であるが、一方で違法駐車防止に関し広く市民、事業者その他関係者の協力を求めるため、広報に関する施策その他必要な施策を策定し、及び実施することは行政の責務であると条例で定められている。 このため違法駐車防止の啓発部分に関しては、引き続き市が担ってゆく必要があり、今後も継続して事業を行う必要性がある。		

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	迷惑駐車対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01096				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01096
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>当該事業は、主に啓発看板の設置や啓発ビラの配布による違法駐車や迷惑駐車等の防止に係る啓発である。市民ニーズも高く、交通事故の原因や市民生活の支障を及ぼす恐れのある違法駐車等の防止について、交通管理者と連携した活動を図る目的からも、公平性は高く積極的に取組むことが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時57分52秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01097	地域公共交通活性化事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	40	自動車に過度に依存しない交通環境づくり							
予算事業	10682	01	08	02	05	03	01	01	地域公共交通活性化事業（交通対策費）
所属長	大竹 哲男				担当者（内線）上松（IP45-501-404）				
根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律								
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市全域		
目標	公共交通の利便性の向上		
結果	公共交通利用者の増加、自動車に過度に依存しない交通環境		
事業概要	市内の公共交通事業者、学識経験者、市民等で「吹田市地域公共交通活性化協議会」を組織し、本協議会において公共交通の利便性向上や利用促進のため、平成21年度に「吹田市地域公共交通総合連携計画」を策定した。平成22年度からは本計画に位置づけた事業の実施や、実施に向けた調整を行っており、平成24年度には各事業の進め方についての方針が概ねまとまったため、協議会は解散したが、引き続き各事業者が事業を推進している。平成29年度は吹田市公共交通マップ2018の作成を行った。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	556	481	556	486	3,327
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.75	0.75	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	6,039	6,039	7,945
総事業費(A+B)	4,641	4,431	6,595	6,525	11,272
特定財源(C)	35	77	37	86	57
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	35	77	37	86	57
市負担(D)	4,606	4,354	6,558	6,439	11,215
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,606	4,354	6,558	6,439	11,215
財源計(C+D)	4,641	4,431	6,595	6,525	11,272

所属	総務交通室
事務事業番号	01097

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	吹田市地域公共交通総合連携計画に位置づけた事業の実施	目標	公共交通の利便性の向上 公共交通の利用促進
成果内容	吹田市公共交通マップの作成	達成状況	市内転入者、主な公共施設、駅等で公共交通マップの配布を行った。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	公共交通を持続的に確保していくためには、公共交通の利用促進が不可欠であり、そのためには公共交通利用者が安心して快適に利用できるような公共交通マップ等わかりやすい情報の提供等が必要である。同時に、公共交通の必要性について、利用者自身にも認識してもらう必要がある。また、公共交通マップの作成にかかる費用については削減に向けた更なる取り組みが必要である。

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	地域公共交通活性化事業	事業区分	その他
事務事業番号	01097				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	84	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01097
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公共交通マップを利用することによる電車、バスの利用促進について、効果がみられることから、公共交通マップの作成については、公共交通の利用促進のための情報提供の充実という目標を達成するために適切な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時59分34秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01098	コミュニティバス運行事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	40	自動車に過度に依存しない交通環境づくり							
予算事業	10683	01	08	02	05	03	02	01	コミュニティバス運行事業（交通対策費）
所属長	大竹 哲男	担当者（内線）上松（IP45-501-404）							
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成15年	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	公共交通不便地域		
目標	公共交通不便地域の緩和、高齢者等の移動手手段の確保、主要施設へのアクセス手段の確保		
結果	地域の活性化、コミュニティの向上		
事業概要	市内における公共交通不便地域である千里丘地区において、平成18年12月から試験運行を実施し、平成23年4月から本格運行へ移行した。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	阪急バス株式会社	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	33,808	30,222	33,466	30,352	31,336
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.75	0.75	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	6,039	6,039	7,945
総事業費(A+B)	37,893	34,172	39,505	36,391	39,281
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	37,893	34,172	39,505	36,391	39,281
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	37,893	34,172	39,505	36,391	39,281
財源計(C+D)	37,893	34,172	39,505	36,391	39,281

所属	総務交通室
事務事業番号	01098

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	市内の公共交通不便地域の緩和、高齢者等の移動手段の確保、主要施設へのアクセス手段の確保等を図るために、本市との協定に基づきコミュニティバスを運行する事業者に対し、補助金を交付する。	目標	公共交通不便地域の緩和、高齢者等の移動手段の確保、主要施設へのアクセス手段の確保
成果内容	平成18年12月から現在に至るまでの運行期間における利用者数は上昇しており、地域のニーズも高い。	達成状況	利用者は年々増加している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明	平成18年12月の試験運行開始から現在に至るまでの運行期間における利用者数、収支率共に概ね上昇していることから、地域のニーズの高さが確認されており、今後も事業を継続していくことが必要。ただし、持続可能性の点からも、引き続き補助金交付額の削減に向けた運行経費削減、運行収入の増加に対する取組を事業者と共に進めていくことや更なる利用促進に向けた啓発に取り組んでいくことが必要である。	

事務事業分析シート

2018/6/1112:31

所属名	総務交通室	事業名	コミュニティバス運行事業	事業区分	その他
事務事業番号	01098				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01098
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five evaluation categories. The scale ranges from 0 to 20. The scores are: 妥当性 (20), 有効性 (15), 効率性 (10), 公平性 (10), and 持続可能性 (10).</p>		
(3)現状分析	<p>コミュニティバスの利用促進については、年間利用者数は平成28年度が142,947人平成29年度が151,740人であり、前年度と比較すると、率にして約6%の増加となっており、地域にとっての必要性が確認され、公共交通不便地域の緩和のための継続的な運行という目的を達成するために必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
12時00分51秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01099	交通バリアフリー推進事業				
章	06	安全で魅力的なまちづくり				
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり				
細節	30	誰もが安全で快適な交通環境づくり				
予算事業	10684	01	08	02	05 03 03 01	交通バリアフリー推進事業（交通対策費）
所属長	大竹 哲男	担当者（内線）菊井（IP45-501-404）				
根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律					
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成22年度			
改正内容	新たなバリアフリー化の目標を設定					
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	主に吹田市バリアフリー基本構想による重点整備地区内及び市民		
目標	旅客施設、車両、道路等の移動等円滑化及び心のバリアフリー化の促進		
結果	高齢者、障がい者等の移動上及び施設の利用上の利便性及び安全性の向上並びに市民の高齢者、障がい者等に対する理解及び協力が得られる		
事業概要	基本構想及び道路特定事業計画の策定や既に策定されている基本構想に基づき実施される旅客施設、道路、信号機等の施設設置管理者等が実施する特定事業について、段階的、継続的な発展（スパイラルアップ）を図っていくため、障がい当事者や市民、施設設置管理者等で構成される吹田市バリアフリー懇談会により特定事業の進捗報告や意見交換、懇談会委員による整備後の現地点検を行っている。また、心のバリアフリーを促進するための啓発を行っている。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	167	146	7,586	4,587	168
人件費職員数(人)	0.50	0.50	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	4,252	4,096	15,638	12,639	8,113
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,252	4,096	15,638	12,639	8,113
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,252	4,096	15,638	12,639	8,113
財源計(C+D)	4,252	4,096	15,638	12,639	8,113

所属	総務交通室
事務事業番号	01099

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	懇談会の開催による旅客施設、道路等の施設設置管理者等による特定事業の進捗状況の確認、評価及び整備後の現地点検によるスパイラルアップ。心のバリアフリーの促進	目標	旅客施設、車両、道路等の移動等円滑化及び心のバリアフリー
成果内容	懇談会の開催により、施設設置管理者等が実施する特定事業の実施状況の把握、情報提供、委員相互による意見交換ができた。	達成状況	平成29年度は南吹田地区新駅周辺のバリアフリー基本構想・道路特定事業計画の策定とバリアフリー懇談会の開催を行った。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	旅客施設、車両、道路等の一体的なバリアフリー化の促進については、懇談会開催による整備状況把握と定期的な現地点検等による事後の評価(スパイラルアップ)を図ることで今後の事業にも生かされていくことから、継続的に取り組んでいくことが必要。		

事務事業分析シート

2018/6/1112:31

所属名	総務交通室	事業名	交通バリアフリー推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01099				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

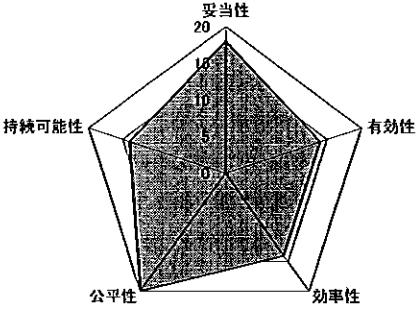
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01099
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成31年春におおさか東線新駅の開業が予定されている南吹田地区において、吹田市バリアフリー基本構想及び吹田市バリアフリー道路特定事業計画を策定を行った。毎年開催している懇談会において、各事業者の整備状況を把握することにより、基本構想に掲げている事業の全体的な整備状況を確認している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時37分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01100	交通バリアフリー化整備補助事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	30	誰もが安全で快適な交通環境づくり		
予算事業	10685	01	08	02 05 03 04 01 交通バリアフリー化整備補助事業（交通対策費）
所属長	大竹 哲男		担当者（内線）玉木（IP501-407）	
根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
事業開始年度	平成14年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	交通バリアフリー基準の改正（駅等における移動等円滑化経路の最短化・複数化等）			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	旅客施設、車両等		
目標	移動等円滑化、利便性向上		
結果	高齢者、障がい者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性と安全性の向上が図れる		
事業概要	補助金の交付等により公共交通事業者等が行うバリアフリー化設備等の整備を促進し、高齢者、障がい者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性と安全性の向上を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	公共交通事業者
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,366	246	85,074	81,055	1,050
人件費職員数(人)	1.00	1.00	0.75	0.75	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	6,039	6,039	7,945
総事業費(A+B)	9,536	8,146	91,113	87,094	8,995
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	9,536	8,146	91,113	87,094	8,995
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,536	8,146	91,113	87,094	8,995
財源計(C+D)	9,536	8,146	91,113	87,094	8,995

所属	総務交通室
事務事業番号	01100

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公共交通事業者によるノンステップバス購入に対する補助金の交付	台	目標値	0.00	0.00	1.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	上記の補助金を受け購入されたノンステップバスの台数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ノンステップバスの割合	%	目標値	0.00	0.00	67.30
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	分母のうちノンステップバスの台数/市内を走行する路線バスの車両数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	公共交通事業者が行うバリアフリー化設備の整備等に対し補助金の交付等を行う。	目標	旅客施設や車両等のバリアフリー化を促進
成果内容	市内鉄道駅舎や車両等のバリアフリー化の促進が図られる。	達成状況	本市の補助金を受け北大阪急行電鉄桃山台駅に可動式ホーム柵が設置された。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】ノンステップバス購入に対する補助の事業費については、本市から事業者への補助額は国の補助額と同額以下としており、適切である。</p> <p>【指標数値の評価】活動指標については、事業者の計画に対応しており、妥当である。成果指標については、事業者の計画によるところが大きい、計画どおりの進捗を維持するためには、今後も補助制度の継続が必要である。</p> <p>【今後の方向性】ノンステップバスの導入については、事業者の計画によるところが大きい、計画どおりの進捗を維持するためには、更なる事業者への働きかけが必要である。鉄軌道駅のバリアフリー化等については、市内の全ての駅において、基本構想に盛り込まれているバリアフリー化は完了しているものの、平成30年3月には「交通バリアフリー基準」等が改正されるなど、更なるバリアフリー化の推進、安全性、利便性の向上が求められており、今後も事業の継続が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	交通バリアフリー化整備補助	事業区分	その他
事務事業番号	01100				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01100
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ノンステップバスの導入については、事業者の計画によるため、本市の施策のみでは、目標値の達成は困難な場合がある。</p> <p>鉄軌道駅のバリアフリー化については、平成29年度末時点において、市内の全ての駅について、基本構想に盛り込まれているバリアフリー化は完了しているが、「交通バリアフリー基準」が改正されたため、必要に応じ施策の拡充等の検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成30年3月30日に「移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準を定める省令(交通バリアフリー基準)」等が改正された。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時20分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01101	交通事故をなくす運動事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	30	誰もが安全で快適な交通環境づくり		
予算事業	10686	01 08 02 05 04 01 01	交通事故をなくす運動事業（交通対策費）	
所属長	大竹 哲男		担当者（内線）柿田耕市（IP501-410）	
根拠法令等	交通安全対策基本法、「交通事故をなくす運動」大阪府実施要綱			
事業開始年度	昭和40年	直近の改正	平成29年	
改正内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会計役員が年度途中で欠如した場合の対応項目の追加 ・構成団体の解散に伴う脱退及び新規加入 			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	全市民、市内事業所、各種団体		
目標	広く市民に交通安全思想の普及を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、関係機関とも連携して道路交通環境の改善に向けた取組みを推進することにより交通事故の絶滅を図る。		
結果	交通事故のない安全な社会の構築		
事業概要	①春と秋の年2回、交通安全運動の推進 ②市内の小学校・保育園・幼稚園に対する交通安全教育の実施 ③高校生、大学生、高齢者、市内事業所に対する交通安全指導の実施 ④自転車安全利用の推進 ⑤ポスター掲示やのぼり旗等による各種広報啓発活動の推進		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		「交通事故をなくす運動」吹田市推進協議会	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,000	1,000	1,000	999	1,000
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	17,340	16,800	17,104	17,103	16,890
特定財源(C)	0	13	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	13	0	0	0
市負担(D)	17,340	16,787	17,104	17,103	16,890
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,340	16,787	17,104	17,103	16,890
財源計(C+D)	17,340	16,800	17,104	17,103	16,890

所属	総務交通室
事務事業番号	01101

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	交通安全教育、交通安全啓発行事	回	目標値	133.00	130.00	130.00
			実績値	140.00	139.00	
			達成度(%)	105.30	106.90	
目標値の積算方法	交通安全教育の実施回数、交通安全運動啓発行事の回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	120.00	123.04	
			一般財源(千円)	119.91	123.04	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	前年と比較して交通事故の発生件数及び死者数を減少させる。
成果内容	交通安全教育や啓発活動により、市民の交通安全意識の向上と交通事故の未然防止が図られる。	達成状況	交通事故発生件数は前年と比較して減少しているが、死者数は3名増となった。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	交通事故の根絶には市役所と警察が推進の主体となり、関係機関とも連携を図りながら本事業を毎年継続して実施していくことが重要である。		

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	交通事故をなくす運動事業	事業区分	その他
事務事業番号	01101				

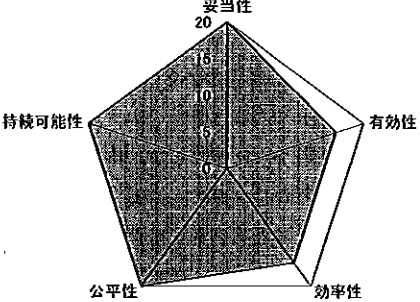
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01101
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	近年の交通事故件数は減少傾向にあり、本事業による効果があると推測される。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
14時24分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01102	鉄道施設等耐震補強補助事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	30	誰もが安全で快適な交通環境づくり							
予算事業	11311	01	08	02	05	03	05	01	鉄道施設等耐震補強補助事業（交通対策費）
所属長	大竹 哲男			担当者（内線）	玉木（IP501-407）				
根拠法令等	特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令								
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	平成29年度						
改正内容	目標年度等（省令に基づく告示の改正）								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	鉄道及び軌道事業者		
目標	大規模地震（震度6強から7程度）発生時や発生後に、輸送機能を早期に回復させるため、構造物の被害を軽微な損傷に留める。		
結果	鉄道等利用者の安全が確保され、緊急輸送道路への鉄道高架橋の損傷による被害を最小限にし、道路の機能を確保・早期復旧に寄与する。		
事業概要	鉄道等事業者が実施する特定鉄道等施設（橋梁、トンネル等）の耐震補強事業費に対して補助金を交付することにより、発生が切迫しその影響も大きいとされている首都直下型地震、南海トラフ地震で大きな揺れが想定される本市において、鉄道利用者等の安全が確保され、また緊急輸送道路への鉄道高架橋の損傷による被害を最小限にし、道路の機能を確保・早期復旧に寄与する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		鉄道及び軌道事業者	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	26,250	21,258	17,100	11,969	0
人件費職員数(人)	1.00	1.00	0.50	0.00	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	4,026	0	0
総事業費(A+B)	34,420	29,158	21,126	11,969	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	34,420	29,158	21,126	11,969	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	34,420	29,158	21,126	11,969	0
財源計(C+D)	34,420	29,158	21,126	11,969	0

所属	総務交通室
事務事業番号	01102

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)を耐震補強する鉄道等事業者に対する補助金の交付を行う。	目標	特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)の耐震化を図る
成果内容	特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)の耐震化が図られる	達成状況	平成29年度は、北大阪急行電鉄が、高架橋の柱10本の補強、移動制限装置11連の整備を行った。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、補助金の額を、国の1/2、府と同額としており、適切である。</p> <p>【今後の方向性】 事業計画は、鉄道事業者により計画されており、事業者より補助の要望があったものについては、全て交付することができているが、特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令に基づき告示で定められた当初の目標年度までに、必要となる事業を完了させることはできなかった。平成29年度末に同告示による目標年度等が変更されたことに伴い、本市も、国及び府と同様に、事業を継続することが妥当である。</p>		

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	鉄道施設等耐震補強事業費補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01102				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01102
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>特定鉄道等施設の耐震化は、現時点では、耐震化が完了していないものがあるが、鉄道事業者が主体となって進めるものであり、本市としては、国及び府と協調し、財政面による支援により促進を図っている。</p> <p>本事業による補助制度の対象となる鉄道事業者の事業は、大阪府が実施する補助制度からも補助を受けるが、地元市の補助額以下とされているため、本市の事業の廃止等は、事業者に大きな影響を与える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成30年3月に、「特定鉄道等施設に係る耐震省令」に基づく告示が改正され、目標年度等が変更されるとともに、国の補助制度も変更された。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時21分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01453	千里山駅前自転車駐車場整備事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	40	自動車に過度に依存しない交通環境づくり							
予算事業	10743	01	08	05	14	01	01	01	千里山駅前自転車駐車場整備事業（公共駐車場整備費）
所属長	大竹 哲男			担当者（内線）辻本（1P501-412）					
根拠法令等	自転車等の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、自転車駐車場条例								
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	阪急千里山駅周辺		
目標	駅周辺の自転車等利用者の駐車場確保及び自転車等の放置防止		
結果	駅周辺の良好な交通環境		
事業概要	阪急千里山駅周辺において、都市再生機構の直接施行制度により平成21年度に自転車駐車場整備事業に着手し、平成25年7月から供用開始している。平成27年度から平成41年度まで都市再生機構へ自転車駐車場整備にかかる長期割賦分に関する経費の返済が残っている。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	独立行政法人 都市再生機構 西日本支社	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	190	190	2,538	2,358	2,358
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,043	1,975	2,013	2,013	1,987
総事業費(A+B)	2,233	2,165	4,551	4,371	4,345
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,233	2,165	4,551	4,371	4,345
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,233	2,165	4,551	4,371	4,345
財源計(G+D)	2,233	2,165	4,551	4,371	4,345

所属	総務交通室
事務事業番号	01453

2頁
平成30年 6月 8日
11時21分14秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	阪急千里山駅東側に都市再生機構の直接施行制度により自転車駐車場の整備を行う	目標	駅周辺の自転車等利用者の駐車場確保及び自転車等の放置防止
成果内容	駅周辺の良好な交通環境の確保	達成状況	平成25年7月阪急千里山駅前東自転車駐車場供用開始

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	当事業により自転車駐車場は完成し平成25年7月より供用開始しているが、都市再生機構の直接施行制度によるため、都市再生機構への長期割賦分の返済が平成27年度から平成41年度まで残る

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	千里山駅前自転車駐車場整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01453				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01453
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>阪急千里山駅周辺において、平成21年度から都市再生機構の直接施行制度により自転車駐車場の整備を進め、平成25年度に完成しましたが、都市再生機構への長期割賦分の返済を平成27年度から行っており、平成41年度まで残っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時22分19秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01621	江坂公園駐車場跡地管理事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	30	誰もが安全で快適な交通環境づくり							
予算事業	11720	01	08	02	01	05	01	01	江坂公園駐車場跡地管理事業（道路橋梁総務費）
所属長	大竹 哲男			担当者（内線）得居（IP501-402）					
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	江坂公園駐車場跡地		
目標	江坂公園駐車場跡地の適正な管理		
結果	江坂公園駐車場跡地の適正な管理		
事業概要	江坂公園駐車場跡地の管理		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	関西消防（株）
		委託先②	日本電検（株）
		委託先③	（株）ピケンテクノ
	主な委託内容		消防用設備保守点検業務ほか
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,672	1,510	1,116	1,030	1,197
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	5,757	5,460	5,142	5,056	5,170
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,757	5,460	5,142	5,056	5,170
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,757	5,460	5,142	5,056	5,170
財源計(C+D)	5,757	5,460	5,142	5,056	5,170

所属	総務交通室
事務事業番号	01621

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	江坂公園駐車場跡地の管理	目標	江坂公園駐車場跡地の適正な管理
成果内容	江坂公園駐車場跡地を適正に管理する	達成状況	上記の目標はおおむね達成できているものと考え

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	事業費は適切である。(施設維持管理に必要な委託料を計上) 江坂公園駐車場を平成28年3月31日で廃止し、駐車場跡地を管理するため本事業を実施している。駐車場跡地の活用策については、今後の検討課題である。		

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	江坂公園駐車場跡地管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01621				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01621
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成28年3月31日で江坂公園駐車場を廃止したため、駐車場跡地を適正に管理する必要がある。
駐車場跡地の活用策については今後の検討課題である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月31日
17時13分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011010000	総務交通室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01757	交通対策検討事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	40	自動車に過度に依存しない交通環境づくり							
予算事業	11895	01	08	02	05	03	06	01	交通対策検討事業（交通対策費）
所属長	大竹 哲男				担当者（内線）辻 雅史（501-408）				
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成29年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	千里山・春日・佐井寺地区		
目標	新たな公共交通の導入		
結果	公共交通の利便性の向上		
事業概要	千里山・春日・佐井寺地区の公共交通空白地解消に向けて、実状に適した交通対策の検討を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	コンサルタント
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	交通対策の検討
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	2,355	1,836	8,694
人件費職員数(人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	0	8,052	8,052	9,932
総事業費(A+B)	0	0	10,407	9,888	18,626
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	10,407	9,888	18,626
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	10,407	9,888	18,626
財源計(C+D)	0	0	10,407	9,888	18,626

所属	総務交通室
事務事業番号	01757

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	千里山地区等における交通対策の検討	目標	新たな公共交通の導入。
成果内容	公共交通の利便性の向上が図られる。	達成状況	千里山地区等の市民の新たな公共交通の利用意向が把握できた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 交通対策の検討に関する委託業務を発注する費用であるため、事業費は適切である。 事業費削減及び財源確保に向けた取組として、委託業務で検討した結果から精度の高い公共交通の利用需要を把握し、将来、公共交通の導入に必要な費用負担をできる限り減少させる必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 新たな公共交通の導入が必要であるかを見極め、導入が決定されれば、公共交通の運行手法等について検討していく。</p>

事務事業分析シート

2018/5/3115:36

所属名	総務交通室	事業名	交通対策検討事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01757				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	01757
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里山・春日・佐井寺地区の公共交通空白地解消に向けて、市民の意向を把握するためアンケート調査を実施した。引き続き更なるデータ収集を行い需要の精度を高め、実状に適した交通対策の検討を行う。</p> <p>今後は、運行ルート、運行経費、需要・採算性・導入効果、基本コンテンツ等を検討し、運行許可者、道路管理者、交通管理者等の関係機関と公共交通の導入に向けた協議をしなければならない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--